

## 「東京都子供・子育て支援総合計画（第2期中間の見直し版）」における 評価指標・アウトカム案の検討

### <見直しの考え方>

- 事業成果（アウトカム）の評価指標は、理念と計画の施策体系に基づいた、目標ごとの項目を設定
- 評価指標は、目指す成果を元に策定し、各項目の成果を知ることができるものを設定
- 評価指標に基づき、成果を図るための調査については、客観性と継続性が担保された既存の統計調査を活用。対応できないものは独自の調査を実施
- できる限り、毎年度評価できる指標を採用
- できる限り、定量的な指標を採用
- 他の都計画と連動した指標を採用

# 目標1 地域における妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の仕組みづくり

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
(1) 妊娠・出産に関する支援の推進				
区市町村が、妊娠期から子育て期にわたって、きめ細かな支援を切れ目なく提供できている。	1	①地域において妊娠期から子育て期にわたり切れ目なく支援する体制は整備されたか ○妊娠期の相談窓口を知っている(利用したことがある)人の増加		インターネット調査
	2 3 4 5	②妊婦や保護者の健康管理への意識は高まっているか ○妊娠届出率の増加 ○妊婦健診の受診率の増加 ○母親学級・両親学級の受講率の増加 ○乳幼児健康診査等の受診率の増加		母子保健事業報告年報
	6	③妊娠・出産への支援に満足しているか ○産後1か月程度の間での指導・ケアが十分であったと感じた人の割合の増加		厚生労働省調査
	(2) 安心できる小児・母子医療体制の整備			
安心できる小児・母子医療体制が整備されている。		事業実績(アウトプット)により評価を行う。		事業実績調査

# 目標1 地域における妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の仕組みづくり

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
(3)子育て家庭を地域で支える仕組みの充実				
区市町村において相談支援やサービス提供の充実が図られている。	7 8 9	①子育て家庭を支援する体制は整備されたか ○行政による子育て支援サービスを知っている(利用したことのある)人の割合の増加 ○行政による相談窓口を知っている(利用したことがある)人の割合の増加 ②子育て家庭に対する支援に満足しているか ○子育て支援サービスを利用したかったが、利用したことがない家庭の割合の減少 <u>+子育てに関する情報が十分に得られている、容易にアクセスできた人の増加</u>		インターネット調査
(4)子供の健康の確保・増進				
子供の健康が確保されている。		事業実績(アウトプット)により評価を行う。		事業実績調査
(5)子供の育ちへの切れ目ない支援				
<u>子供の育ちを切れ目なく支援する。</u>		事業実績(アウトプット)により評価を行う。		事業実績調査

## 目標2 乳幼児期における教育・保育の充実

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
(1)就学前教育の充実				
質の高い幼児教育が確保されるよう必要な支援が実施されている。	10	①就学前教育が充実しているか ○子供が通う各幼稚園・保育所等において、生きる力の基礎を培う就学前教育が充実していると感じるか(「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」といった資質・能力を身に付けられていると感じるか)		インターネット調査
(2)保育サービスの充実				
保育サービスが充実されている。	11 12	①依然として高い保育ニーズに対応しているか ○待機児童の解消 ○保育サービス利用児童数の増加		保育支援課調査
	13 14 15 16	②保育サービスの質が確保されているか ○指導監査での指摘数の減少 ○子供の気持ちを尊重した保育サービスがされていると思う人の割合の増加 ○保育士のキャリアアップ研修受講者数 ○保育所等において保育の質の向上が図られていると感じる家庭の割合の増加		・指導監査報告書 ・第三者評価利用者調査結果 ・インターネット調査

## 目標2 乳幼児期における教育・保育の充実

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
(3)認定こども園の充実				
認定こども園が普及している。			事業実績(アウトプット)により評価を行う。	事業実績調査
(4)就学前教育と小学校教育との連携				
小学校教育との円滑な接続のため、就学前教育プログラム(「幼児と児童の交流」「保護者への理解啓発」「保育士・教員の連携」)が具体化されている			事業実績(アウトプット)により評価を行う。	事業実績調査

### 目標3 子供の成長段階に応じた支援の充実

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
(1)子供の生きる力を育む環境の整備				
子供の「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」を育成するための環境が整備されている。	17	①学力は向上したか ○小・中学生の学力の向上		全国学力・学習状況調査の分析結果
	18	②体力は向上したか ○小・中学生の体力・運動能力の向上		全国体力・運動能力、運動習慣等調査
	19	③子供の生きる力を育成する環境は整備されたか ○子供の生きる力をはぐくむ環境の整備施策が充実していると思う人の割合の増加		福祉保健基礎調査
(2)次代を担う人づくりの推進				
子供たちが社会の一員としての自覚を持ち、自立に向けた準備を整えられる仕組みが充実されている。		① <u>子供が権利の主体として尊重されているか</u> <u>+子供が権利の主体であることを知っている子供の増加</u> <u>+子供が権利の主体であることを知っている大人の増加</u>		<u>とうきょうこどもアンケート</u>
	20	②若者の自立を支援する体制は整備されたか ○若者の社会的自立の促進施策が充実していると思う人の割合の増加		福祉保健基礎調査
	21 22 23	③若年者の自立は進んだか ○若年無業者の割合の減少 ○小・中学校の不登校者の割合の減少 ○都内公立高等学校の長期欠席者の割合の減少		・就業構造基本調査 ・学校基本調査・児童生徒の問題行動等の実態について

目指す成果	通し番号	評価指標（○番号）	アウトカム（○）	出典
(3)放課後の居場所づくり				
放課後の居場所が 拡充されている。	24 25 26 27	①放課後の居場所は整備されたか ○学童クラブ登録児童数の増加 ○学童クラブ待機児童数の解消 ○学童クラブ設置数の増加 ○放課後子供教室数の増加		・福祉局調査 ・教育庁調査
	28 29	②支援の質が確保され、支援に満足しているか ○放課後児童支援員資質向上研修の受講者数の増加 ○学童クラブの支援に満足している家庭の割合の増加 <u>＋学童クラブに満足している子供の割合の増加</u>		・福祉局調査 ・インターネット調査 <u>・第三者評価利用者調査結果</u>

# 目標4 特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
(1)子供の権利擁護の取組				
子供があらゆる場面において権利の主体として尊重されている。			事業実績(アウトプット)により評価を行う。	事業実績調査
(2)ヤングケアラーへの支援				
<u>ヤングケアラーを早期に把握し多面的な支援につなげている。</u>		①ヤングケアラーが必要な支援に繋がっているか	<u>○支援のつなぎにおいて核となるヤングケアラー・コーディネーターを配置している自治体数の増加</u>	福祉局調査



# 目標4 特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典			
(3)子供の貧困対策の推進							
貧困の世代間連鎖を断ち切り、全ての子供が健やかに成長できるように、子供の貧困に対する総合的な施策が充実されている。	30	①貧困の状況にある子供の進学状況は改善されたか ○生活保護世帯に属する子供の <b>高校・大学等</b> への進学率の上昇		厚生労働省社会・援護局保護課調べ			
	31				○児童養護施設の子供の <b>高校・大学等</b> への進学率の上昇		
	32				○生活保護世帯に属する子供の高校中退率の減少		
	33	②貧困の状況にある子供の就職状況は改善されたか ○生活保護世帯に属する子供の高校卒業後の就職率の上昇		厚生労働省社会・援護局保護課調べ			
	34				○児童養護施設の子供の高校卒業後の就職率の上昇		
	35	③ひとり親家庭の就業状況は改善されたか ○就業率の上昇		福祉保健基礎調査			
	36				○正規雇用の割合の上昇		
37	④貧困家庭の早期発見につながる体制は整備されたか →○妊婦届出者に対する面接を行った割合の上昇		母子保健事業報告年報				

## 目標4 特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
<b>(4) 児童虐待の未然防止と対応力の強化</b>				
虐待の対応について、切れ目のない支援が行われる体制が整備されている。	38 39	①児童虐待に対する意識は高まっているか ○虐待通告(総)件数のうち、近隣・知人からの通告数・割合 ○通告義務の認知度の上昇		・事業概要(東京都児童相談所) ・インターネット福祉保健モニターアンケート
	40 41 42 43	②児童虐待に対応する体制は整備されたか ○児童福祉司数、児童心理司数の増加 ○児童福祉司一人当たりの虐待相談受理件数の減少 ○一時保護所における平均入所率 ○児童一人当たり平均保護日数		事業概要(東京都児童相談所)
<b>(5) 社会的養護体制の充実</b>				
社会的養護を必要とする子供が、それぞれの状況や課題に応じた養育・ケアを受け、健やかに育ち自立できるようにする。	44 45 46	①子供の状況に応じた養育・ケアが提供される体制は整備されたか ○里親等委託率の上昇 ○フォスタリング実施機関による里親支援の状況 ○児童養護施設・乳児院の小規模化の割合の増加		福祉局調査
	47 48	②自立支援を受けられたか ○ジョブ・トレーナー又は自立支援担当職員による支援を受けた児童数の増加 ○自立支援コーディネーターによる支援を受けた児童数の増加		福祉局調査

# 目標4 特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
-------	------	------------	-----------	----

## (6)ひとり親家庭の自立支援の推進

ひとり親家庭が安定した就労や生活の下、子供を健全に育むことができるようにする。	49 50	①ひとり親家庭に対する相談体制は整備されたか ○母子・父子自立支援員制度の認知率の増加 ○東京都ひとり親家庭支援センターの認知率の増加	福祉保健基礎調査
		②ひとり親家庭に対する子育て支援・生活の場は整備されたか <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;">事業実績(アウトプット)により評価を行う。</div>	事業実績調査
		③ひとり親家庭の就業状況は改善されたか ○(2)子供の貧困対策の推進③と同	福祉保健基礎調査
	51	④ひとり親家庭の養育費の状況は改善されたか →○養育費を受けているひとり親家庭の割合の増加	福祉保健基礎調査

## (7)障害児施策の充実

障害児とその保護者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、一般的な子育て支援施策における障害児の受入れを進める	52 53 54 55	①一般的な子供・子育て支援施策において障害児を受け入れる体制は整備されたか ○保育所等訪問支援を利用できる体制を構築する区市町村数の増加 ○保育所等における障害児の受入児童数の増加 ○医療的ケア児を受け入れる保育所等の数、受入児童数の増加 ○保育所等において医療的ケアを行う看護師数、保育士数の増加	福祉局調査
--	----------------------	---	-------

## 目標4 特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
(7)障害児施策の充実				
子供の成長段階や障害特性に応じた適切な支援が提供されるよう障害児支援の提供体制の確保を進められている。	56 57 58 59	②障害児とその保護者を支援する体制は整備されたか ○児童発達支援センターを設置する区市町村数の増加 ○主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所を確保する区市町村数の増加 ○主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所を確保する区市町村数の増加 ○医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場を設置する区市町村数の増加		福祉局調査
(8)慢性的な疾病を抱える児童等の自立支援				
疾病を抱える児童の自立促進に向けた支援が図られている。	60	①疾病を抱える児童の自立を支援する体制は整備されたか ○小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の認知度の上昇		福祉局調査
(9)外国につながる子供等への支援について				
教育・保育施設等において、受入れ環境が整っている		<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;">                         事業実績(アウトプット)により評価を行う。                     </div>		事業実績調査

## 目標5 次代を担う子供たちを健やかに育む基盤の整備

目指す成果	通し番号	評価指標（○番号）	アウトカム（○）	出典
(1)家庭生活と仕事の両立の実現				
ライフワークバランスが推進されている。	61	①仕事と家庭生活の両立に向けた支援体制は整備されたか	・福祉保健基礎調査 ・都民の就業構造	
	62	○家庭生活との調和がとれた職場づくりの推進に関する施策が充実していると思う人の割合の増加		
	63	○女性の有業率の増加		
	63	○男性の育児休業制度利用者の増加		
	64	②家庭での意識は高まったか		・インターネット調査 ・福祉保健基礎調査
	65	○子供と一緒に過ごす時間の増加		
	66	○夫婦の会話時間の増加		
67	○夫婦のコミュニケーションの増加			
67	○家事分担割合の理想と現実のギャップの縮小			
(2)子供を犯罪等の被害から守るための活動の推進				
子供が犯罪等の被害から守られている。	68	①子供の犯罪被害は減少したか	警視庁統計	
	69	○福祉犯罪の子供の被害者数の減少		
	69	○福祉犯罪(性的被害)による保護状況の減少		
70	②子供を犯罪被害から守るための取組が充実しているか	福祉保健基礎調査		
70	○子供をインターネット等の有害な情報や薬物・非行・犯罪等から守る取組が充実していると思う人の割合の増加			

# 目標5 次代を担う子供たちを健やかに育む基盤の整備

目指す成果	通し番号	評価指標 (○番号)	アウトカム (○)	出典
(3)子供の安全を確保するための取組の推進				
子供の安全が確保されている。	71 72	①子供の事故数は減少したか ○交通事故の死傷者数の減少 ○日常生活の事故数の減少		・警視庁統計 ・東京消防庁統計
(4)良質な住居と居住環境の確保				
良質な住居と居住環境が確保されている。			<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">                         事業実績(アウトプット)により評価を行う。                     </div>	事業実績調査
(5)安心して外出できる環境の整備				
安心して外出できる環境が整備されている。			<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">                         事業実績(アウトプット)により評価を行う。                     </div>	事業実績調査
(6)子供・子育てを応援する機運の醸成				
子供・子育てを応援する機運が醸成されている。	73	①子供・子育てを応援する企業等は増えたか ○子育て応援とうきょうパスポート協賛店の増加		福祉局調査